

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( H16年 3月 31日作成 )

委員会名	地方都市小委員会	主 査 名：北原 啓司
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：佐藤 滋
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	地方都市の地域性と固有性をふまえた都市計画のあり方について、特に中心市街地問題と市街地拡大に焦点を当てて、具体的な事例の分析を行いながら明らかにする。 2003 年度 これまでの研究成果の出版および議論 2004 年度 街なか居住に関するリレー形式の研究会の全国展開	
委員構成 (委員名(所属))	北原啓司(弘大)、瀬戸口剛(北大)、今野亨(北海道開発コンサルタント)、洪正徳(都市環境研究所)、猪瀬典夫(マキユアス)、中出文平・樋口秀一(長岡技科大)、浅野純一郎(長野高専)、浅野聡(三重大)、木谷弘司(金沢市)、野嶋慎二(福井大)、鶴心治(山口大)、熊野稔(徳山高専)、出口敦(九大)、梶原文男(大分県)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	220,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	会議開催日 2003/9/4 12名 2003 年度活動方針の調整、OS テーマの検討 2004/2/20 9名 リレー形式の研究会実施方法の検討 出版校正(～7月)、出版(11月)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 実施実績 1) 出版 「中心市街地再生と持続可能なまちづくり」 (学芸出版社、11月26日刊行) 2) 研究成果を活かした研究集会の開催 オーガナイズドセッションの開催 リレー形式の地方都市セミナーの準備 東北地方整備局コンパクトシティ研究会との連携 3) 新たな研究アーリーナの構築 委員会の開催(2回)における議論およびメイリン グリストを用いた意見交換  委員会 HP アドレス : <a href="http://urban.nagaokaut.ac.jp/~plan/local/local.html">http://urban.nagaokaut.ac.jp/~plan/local/local.html</a>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  計画当初は、出版の時期をもう少し前にすることを考えていたため、リレー形式の研究会を2003年度後半に開始する予定であったが、出版が遅れたために、出版物を用いる研究会の性格上、やや遅れている。そこで、主査が深く関与する国土交通省東北地方整備局のコンパクトシティ研究会と連携する形で、今年度は実施するのみとなった。
その他評価すべき事項	都市計画委員会として初のオーガナイズドセッションの実施